

三重県私費海外留学生体験記
楠 理紗子さん（アメリカ・ジョージワシントン）
ジョージ・ワシントン大学・心理学専攻

2018年10月更新

・専攻している科目の学習状況について

心理学専攻として、先学期は心理学を3クラス(社会心理学・認知心理学・性差心理学)と、必修の統計学を履修しました。心理学基礎を履修していた頃から興味があると感じていた社会心理学を初めて本格的に深く勉強し、改めて、幅広い心理学の中でも自分が社会心理学に興味があることに気が付きました。特に、人と接する中で個人がどのように思考・行動が変化するかや、いかに無意識の間に、私達の思考は偏見や先入観に大きく影響されているかに関心があります。残りの2年間で、心理学の中でも特に社会心理学系の授業を履修していく予定なので、その過程で社会心理学の中での自分の専門分野を深めていく予定です。さらに、心理学を専攻するにあたって必修科目である統計学も勉強しました。

心理学は、得た結果・データを正しく読みとることからスタートするので、統計の知識が身につけている事が重要です。今回は統計の基礎を勉強しましたが、まだまだ奥が深いことがわかったため、この先もより踏み込んだ内容の統計学・心理学に特化した方法論の授業を履修する予定です。

・ボランティアやアルバイトなど、どのような学業以外の活動をしていますか。

ジョージ・ワシントン大学では、2つのサークルに所属しています。1つは「ソロリティ」と呼ばれる種類のサークルで、メンバー間の信頼関係を非常に重んじ、その上で全員がボランティアやコミュニティーサービスを行います。ソロリティに入り、ボランティアに参加したり地域のイベントに関わる機会が増えたりしただけでなく、さまざまなバックグラウンドをもつ学生と、厚い信頼関係のもと、何があっても助け合える関係を築けたことが良かった点だと思っています。さらに、学生主体の団体なので、それぞれに役割が与えられます。リーダーシップの力やグループワークの力も強化されました。もう1つは、大学のジャパニーズ・アメリカン・スチューデント・アソシエーションの幹部を務めています。日本文化を大学内で広めるために様々なイベントを開催したり、日本人の生徒と日本に興味のある学生を繋げたりする活動をしています。編入前の大学でもジャパニーズクラブで代表をしていたためその経験を活かして、新しいイベントを企画していこうと考えています。学期中は、アルバイトはしていません。

・三重県や日本の文化や習慣等について紹介する機会はありますか。

所属しているサークルを通して、日本文化を紹介する機会が多くあります。定期的

に開催するイベントで日本食を準備したり、「夏祭り」という、最も大きなイベントでは、縁日をイメージした様々なブースを作ったり、日本の夏祭りの雰囲気を感じてもらいます。私の所属する大学にはそもそも日本人の学生があまりいないのですが、数少ない日本人の学生の出身のほとんどが東京や首都圏です。日本のどこから来たか尋ねられ、三重と答えても認知できる人がいないため、その度に三重県について紹介する良い機会となっています。伊勢神宮が有名であることや、伊勢志摩サミットで各国の首脳が集まったこと、忍者のふるさとであることについて話すと非常に興味を持って聞いてもらえます。三重は、東京や大阪のように都会ではないけれど、自然豊かでとても良い土地だと話すと、「都会よりも田舎の方が好きだから、日本の田舎にも是非行ってみたい」と言ってくれる人が多く、嬉しく感じています。この夏には、アメリカ人の友達が私の家に遊びに来るため、伊勢神宮などを一緒に観光する予定です。

2018年10月更新(ジョージワシントンへの編入前・ジュニアタ大学について)

・あなたの留学目的は何ですか。

私の留学目的は、アメリカの大学のリベラルアーツをもとにした教育に魅力を感じたことと、高校まで日本に住んだことしかなかったので、今まで自分の過ごしてきた所とは全く違う環境で生活し、刺激を受け自分を高めたかったということです。また、専攻が未定なため、アメリカの大学では専攻を決定する前に様々な分野について学ぶことができるという点も大きかったです。

・留学している(する予定の)学校や専攻しているプログラムの特徴は何ですか。

私の留学先である Juniata College の特徴は小規模リベラルアーツカレッジということです。1、2年は幅広い学問を学び、3年生から自分の専攻分野について深く掘り下げて学習していくという方式をとっています。授業はほとんどが少人数で行われ、階段教室で大学院生のティーチングアシスタントによって教えられ授業はありません。教授との距離も非常に近く、授業後に教授のオフィスに行き質問などもしやすい環境です。生徒への目がよく行き届くので、留学生への対応もしっかりしています。

・留学大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。

受験手続きは、Common Application というオンラインの一斉出願システムを使い複数の大学へ出願しました。その他に、高校の成績証明書、卒業証明書、2名先生からの推薦状、財政証明書が必要でした。テストは、英語の能力を証明するために TOEFL iBT を受験しました。アメリカのセンター試験のような SAT という試験も受験しました。

・留学校を決めるにあたって利用した資料や機関はありますか。

栄陽子留学研究所を利用しました。出願校の決定から受験までサポートして頂きました。

・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。

小規模リベラルアーツカレッジであったことと、実際に大学のキャンパスを訪れてみたときの雰囲気が好きだったからです。

・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

伊勢志摩サミット外国語案内ボランティアをしました。外国の方々に日本文化を紹介したり、通訳する方法を学び、伊勢志摩サミットの前後数日間に駅に立ち、外国の方々への道案内を中心に活動しました。

津市の初期日本語教室「きずな教室」で日本語を母国語としない子ども達を対象に、ボランティアとして日本語を指導していました。